

解答編

英語

◀教育、心理・福祉、文、人間栄養、
看護、音楽、短期大(総合文化)学部▶

A 解答 1-ウ 2-エ 3-ア 4-エ 5-イ 6-ウ
7-エ 8-ア 9-イ 10-ウ

- 解説** 1. 「政府は新健康対策には10億ドル以上の費用がかかると発表した」 cost 「(金額・費用が) かかる」
2. 「ベンは高校生でレスリング部の部員だ。彼はトレーニングのあととはとてもお腹が空くので、毎晩、大盛りのご飯を食べる」 belong to ~ 「~に所属する」 a big bowl of rice 「大盛りのご飯」
3. 「セリーヌの両親は音楽家だったので、彼女は小さいときに歌を歌うのがとても好きになった」 become fond of ~ 「~を好きになる」
4. 「このメッセージが間違っあなたに届いた場合、内容が機密かもしれないため、当社の顧客サービスまでご連絡いただき、元のメッセージを破棄するようお願いします」 destroy 「~(文書など)を破棄する」
5. 「何人かの親は子どもに入学試験の合格祝いに旅行やお金のようなほうびをあげるそうだ」 reward 「報酬、ほうび」
6. 「グリーンさんは、我が社の新入社員教育の責任者です」 be responsible for ~ 「~への責任を負っている」
7. 「私は田舎に住むより都会に住むほうがいい」 prefer A to B 「BよりAを好む」
8. 「昨日スーザンが提案したプランは慎重な検討に値すると思う。私は次回の会議でそのことについて話したいと思う」 deserve consideration 「検討するに値する」
9. 「ピーター、ゴミ収集車は毎週何回プラスチックゴミを集めにくる

次の課題の中より一つを選択し、半紙に臨書しなさい。

集字聖教序

天地苞乎陰

▲文(書道文化コース)学部▼

(六〇分
解答例省略)

書道

の？」 how often ～「どれくらいの頻度で～」 garbage truck「ゴミ収集車」

10. 「私がジュースを買うとき、果汁 100%であってほしい。人工のジュースは飲みたくない」 artificial「人工の」

B

解答

11ーイ 12ーエ 13ーア 14ーウ 15ーウ 16ーイ
17ーア 18ーエ 19ーウ 20ーイ

〔解説〕 11. 「ほうれん草を食べるとあなたは強くなる。だから、頻繁に食べたほうがよい」 make O C「OをCの状態にする」

12. 「長らくお待たせして本当にすみません」 keep A doing「Aを～させ続ける」

13. 「この犬にはなじみがある。前に会ったことがあるかもしれない」 may have done「～したかもしれない」 過去の事柄に対する現在の推量を表す。

14. when 以下は時を表す副詞節で「その医者が到着したら教えてもらえますか？」となり、未来のことでも未来時制を用いず現在時制を用いる。

15. 「私たちの大半はその噂がうそだと思った」 時制の一致で、主節の動詞が過去 (thought) になると、原則として従属節の動詞も過去 (was) となる。

16. 「リナはこの2人の女性の中では、身長が高いほうだ」 the + 比較級 + of the two (比べるものが2つの場合) この場合は比較級を用いるが、対象となる2人のどちらかが上回っていることになるので、比較級の前に the をつける。

17. 「大半の学生は大地震が2011年に起きたと知っていた」 大地震が起きたのは過去 (2011年) のことなので過去形になる。

18. 「インドでは何語が話されますか？」「(インドの人々によって) 話される」ということなので be spoken と受動態で表す。

19. 「私は幼稚園児だったとき、絵を描くのがうまかった」 be good at ～「～が上手だ、得意だ」 at の後には名詞もしくは動名詞を置かなくてはならないので drawing が正解。

20. 「この道具は高い枝を切るのに使われる」 to cut ～「～を切るために」 to do は目的を表す不定詞である。

C

解答

21ーエ 22ーア 23ーア 24ーウ 25ーア

〔解説〕 1 《授業で》

21. バーカー先生がドキュメンタリーの要約を授業中に完成させ、提出してもらおうと告げる。すると、マユナが言いづらそうに、空所の発言に続いて … so I can't write my summaries. 「…だから、私は要約を書けません」と言う。ここで、その理由のエ、「先週、授業を欠席しました」を入れると自然な流れになる。

22. バーカー先生はドキュメンタリー課題を電子メールでマユナに送信したので視聴できたはずだ、と言うと、彼女はそれを視聴するのを忘れたと返答する。これを受け、バーカー先生が空所のあとの発言で「この課題の評価は低くなります」と告げ、マユナは謝罪する。したがって、ア。「それはよい言い訳ではないわね」を選ぶと会話が成立する。

2 《返品カウンターで》

23. 客が、昨日買ったプリンターを返品したいと言ってきたので、店員が All right. 「かしこまりました」と応答する。この直後の空所に、ア。「レシートはありますか？」を入れると、客の次の発言の「すみません、誤って捨ててしまいました」という受け答えが成立する。

24. 店員が「すみませんが、それがなければ…」と言い、続けて空所の発言をする。直後に客は、That's upsetting. 「それはひどいね」と憤慨するが、店員は「当店で購入した証明が必要になる」と返答する。よって、客が憤慨する理由として、また店の立場からの発言として、ウ。「払い戻しはできかねます」が適切である。

3 《大学での専攻》

25. ケンタが大学でコンピュータサイエンスを専攻するつもりだと言う。サラがそれは意外だと返答し、続けて空所の発言をする。これにケンタは、「コンピュータプログラマーになることさ」と応答しているので、ア。「あなたの将来の目標は何？」が適切。ケンタの応答は My future goal is to become a computer programmer. と考えるとよい。

D 解答 26ーイ 27ーウ 28ーオ 29ーア 30ーオ

【解説】 並べ替えた英文は以下のとおり。

26. If it rains this weekend (, let's just stay home and watch a movie together.) 時を表す副詞節の中では、未来のことでも未来時制を用いず、現在時制を用いる。

27. (You can never) become fluent in a foreign language without (actually speaking the language.) never ~ without *doing* 「…することなしに決して～しない」

28. (We've already prepared a lot of food for the party, so you) need not have brought so (many snacks.) need not have *done* 「～する必要がなかったのに(実際はした)」

29. (The young man was) so timid that he avoided (contact with other people.) so ~ that … 「とても～なので…」

30. (I've been worried about you. I) have hardly seen you since (last summer.) 現在を基点として、それまでの状態の継続を表すには、現在完了 (have *done*) を用いる。have hardly *done* since ~ 「～以来ほとんど…していない」

E 解答 31ーウ 32ーア 33ーエ

【解説】 《日本への旅行に関わる友人への問い合わせ》

31. 「なぜベスはマユミに手紙を書いているのか？」 第1段最終文(There are just …) 参照。自分たちがアメリカを発つ前に、聞きたいことが少しだけあると前置きしている。よって、ウ。「ベスは旅行に行く前にマユミにいくつか質問がある」が適切。

32. 「ベスはマユミにどんなお土産を持って行きたいか？」 第2段第1～3文(First, I want … holiday is approaching.) 参照。日本にはなにもかもあるが、ベスはマユミから日本ではハロウィーン衣装に多様性がないと聞いていたので、ハロウィーンも間近なため、その衣装をお土産にしたとある。よって、ア。「日本で簡単に買えないもの」を選ぶ。エに関しては本文中に記載はなく、イに関しては、同段第5文(In that case, …)

で「テレビ番組で観たような衣装」に言及しているが、テレビ番組をプレゼントしたいとは言っていない。ウに関しては、同段第6文(Or, how about …) で「M&M の様々な色の衣装」と提言しているが、キャンディについては述べていない。

33. 「なぜベスはマユミの都合について知っておく必要があるのか？」 最終段第3・4文(If we're arriving … tickets in advance.) 参照。日本に到着したら、マユミが自分たちと自由に旅行してくれるのか、または、ほぼ自分たちで行動するのか、チケットの事前の手配も必要なため、マユミの都合を知りたいとある。よって、エ。「ベスは日本でマユミと旅行したいから」が正しい。availability 「(人の) 都合」

F 解答 34ーウ 35ーイ 36ーウ 37ーア 38ーエ

【解説】 《老化は病気であるというシンクレアの研究》

34. 「デビッド＝シンクレアは近い将来、人間は…するだろうと思っている」 最終段(Sinclair believes that, …) で、シンクレアは、若返りの正しい情報が与えられれば、老人の不健康な細胞も再び元気になり、より長生きできるようになると考えていると記述されている。よって、ウ。「老化の過程を逆行させることができる」が適切。

35. 「シンクレアが老化について述べているものはどれか？」 第2段最終文(This will happen …) で、「病気そのものの治療ではなく老化の過程を逆行させることによって、高齢者に多い疾病の発症はまれになる。(老化の逆行が治療の代わりになるということは) 老化自体が病気なのである」というシンクレアの主張が記述されている。よって、イ。「老化は治療できる病であると考えるのが最適だ」が適切。

36. 「1986年の研究と2016年の研究の間で一つ違いがあるが、どれか？」 第3段第4文(Then, in 2016, …) で、2016年の研究で、マウスの老化細胞を幹細胞と呼ばれているものに変換できた、と記述されているので、ウ。「2016年の研究でより老化したマウスの細胞が幹細胞になった」が正解。

37. 「シンクレアはマウスの老化を逆行させる点においてこれまでどの程度の成功を収めているか？」 第4段第1・2文(David Sinclair came

… body of mice.)を参照。シンクレアは害のない新手法で、全身ではないものの、老化したマウスの脳や筋肉の器官で老化を逆行させることに成功した、と記述されているので、ア、「シンクレアはマウスのごく一部の器官で老化を逆行させた」が正しい。

38. 「シンクレアが細胞に自身で若返らせる手法はどれか？」 第4段最終文(Therefore, his approach …)で、若返りを図るシンクレアのアプローチは、細胞に自身で若返る方法を忘れさせないようにすることであると記述されている。よって、エ、「シンクレアは、細胞が自身で自然に若返る方法の記憶を回復させる」が適切。

日本史

◀教育、心理・福祉、文(書道文化コースを除く)、音楽学部▶

I 解答 《古代の政治と文化》

1-エ 2-イ 3-ウ 4-ア 5-ウ 6-ウ 7-イ 8-ウ
9-ウ 10-ウ

II 解答 《中世・近世の歴史書》

11-イ 12-イ 13-ウ 14-エ 15-ア 16-ウ 17-イ 18-ウ
19-ア 20-イ

III 解答 《明治時代前半の政治と外交》

21-ウ 22-エ 23-ウ 24-ア 25-イ 26-エ 27-エ 28-エ
29-ウ 30-ウ